

環境ボランティアサークル亀の子隊

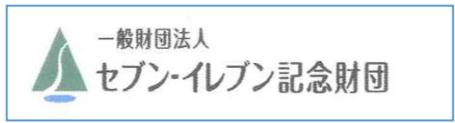
渥美半島 西の浜クリーンアップ活動

2021年8月15日(日) 10:00~11:00

Kポイントあたりの海



海はすべての命の源です。私たちは、大昔の人たちのようにもっともっと海を大切にしなければいけないと思います。そして、21世紀に生きる私たちはきれいな海を守っていきたいと思います。



『この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。』

環境ボランティアサークル亀の子隊
連絡先090 9123 7983



この活動は『セブンイレブン記念財団の助成』『あいち森とみどりづくり助成』『未来のみなとづくり助成』を受けています。

亀の子クラブ

環境ボランティアサークル 亀の子隊 通信

NO. 241 2021年07月25日号

発行責任 亀の子隊事務局

通算300回目の活動

西の浜クリーンアップ活動

2021年07月22日

海の日の活動

参加者数 90名

ゴミの総重量 160Kg

平成10年(1998年)から始まった西の浜クリーンアップ活動は、23年目となり、今回の活動で300回となりました。

この間に、21,000人を超える日知の参加があり、ゴミの量も76,400KGを超えています。

この数年、海に対する関心が高まってきました。海ゴミの問題が世界の課題として取り上げられています。



しかし、残念ながら、クリーンアップ活動を通して「ゴミが減ったなあ」とは感じません。テレビなどの電化製品はなくなってきたように思いますが、生活ゴミ、家庭ゴミが増えているように感じます。

ゴミは正しく処理をすれば、川や海に流れ出ることはありません。分別をして出すというゴミ処理に面倒臭さがある人が不法投棄をしているのでしょうか。捨てたゴミが海の生態系にどんな影響を与えるか考えてほしいと思います。

SDGs 14 海の豊かさを守る



写真は、ビーズクッションと呼ばれるものです。カバーが破れて、中の微小なプラスチック粒が風に吹かれて外に出ていました。市役所の廃棄物対策課に連絡し、急遽片付けてもらいました。

中には、どれだけのプラスチック粒が入っているのでしょうか。これが、海へ出てしまったことを考えると、海の生き物への影響は計り知れません。これを考え作った人は、古くなって処分に困った人がどういう行動に出るか、あまりにも想像力が欠如しています。使った人の責任の前に、作った

人の責任も問題提起すべきものだと思います。

思いを届ける手紙作戦



今年も、手紙作戦を実施しました。「きれいな海を守りたい!」という子どもたちの純粋な思いを企業に届けています。今年は、亀の子隊が始まったころに多くの応援メッセージをもらった伊勢湾、三河湾、名古屋港で働く海運業・船舶業の企業に送ら

せてもらいました。当時から継続して支援をしてくれている企業さんもあり、感謝しています。

きれいな海を守る活動に協力してください!という亀の子隊の思いを受取ってくれる人たちが、さらに増え、ともにきれいな海を守るために活動できることを期待したいと思います。

2021年08月の活動は15日(日)です。大勢の力できれいな海を守りましょう。